

授業科目 英語 I

【担当教員名】 五十嵐 紀子、Mark Surma、木伏 あづさ 長 和重、山田 栄、山本 淳子、Paul Riley Gregory Alan Dick、Greg Twomey	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【一般目標：G10】
英語のテキストを読むだけでなく、様々な言語活動を通じて基礎的英語力を多角的に補強し、実践的なコミュニケーション能力を育成する。テキストは医療福祉に関する話題を取り扱うものであり、種々の演習や言語活動を通して、情報を読み取る読解力、基本的な語彙の習得、話す・聞くの基本的な運用能力、英語使用に対する忌避感の払拭等を考慮して学習する。

【行動目標：SBO】
1. QOL関連の内容が書かれた文章の概要を、辞書を参照しながら自分の言葉で述べることができる。
2. QOL関連の事柄を、辞書参照や他のストラテジーを駆使しながら、英語の基本語順で表現することが出来る。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション		講義と演習
2	Unit 1 思春期の少女の悩み	1.2	講義と演習
3	Unit 1	1.2	講義と演習
4	Unit 2 ガンの治療	1.2	講義と演習
5	Unit 2	1.2	講義と演習
6	Unit 3 女性の体調	1.2	講義と演習
7	Unit 3	1.2	講義と演習
8	Unit 4 右脳と左脳	1.2	講義と演習
9	Unit 4	1.2	講義と演習
10	Unit 5 応急手当	1.2	講義と演習
11	Unit 5	1.2	講義と演習
12	Unit 6 海外での病気や怪我	1.2	講義と演習
13	Unit 6	1.2	講義と演習
14	Unit 7 チャイルドシートの使用	1.2	講義と演習
15	まとめ	1.2	講義と演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	Take Care! Communicative English for Life and Health	Asako Yamazaki 他	三修社	2008・1,700円
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 小テスト、出席状況、課題等による評価に、共通テストの評点も成績に加える。	【履修上の留意点】 授業には必ず辞書を持ってくること。
--	--------------------------------